

オーナーズマニュアル

CE

UK

# コルプス 3G





## ペルモビールについて

ペルモビール(株)は、地元ディーラーによるサービス/営業活動に対して責任を負っています。つきましては、お住まいの地域におけるサービスや営業に関するご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

ペルモビール株式会社  
**Permobil K.K.**

茨城県土浦市西根西1-2-17

Tel: 029-886-8360

Fax: 029-886-8361

E-mail: [info@permobil.jp](mailto:info@permobil.jp)

ペルモビールグループ本社

**Permobil AB**

Box 120

861 23 Timrå

Sweden

Tel: +46 60 59 59 00

Fax: +46 60 57 52 50

E-mail: [info@permobil.se](mailto:info@permobil.se)

# コルプス 3G

## 電動車いすシートシステム

ペルモビール AB (スウェーデン) 作成/発行 2012-06 第2版

品目番号 : 205254-UK-0

目次

オーナーズマニュアルに関する重要なお知らせ.....6

安全上の注意事項.....8-15

設計と機能.....16

調整.....28

シートベルト.....40

運搬.....41

手入れとメンテナンス.....42

付属品.....43

技術仕様.....44

**この取扱説明書(Owner' s Manual)に関する大切なお知らせ**

弊社製品をご購入いただきありがとうございます。弊社は、弊社および弊社製品に対し未永くご満足いただけるよう努めてまいります。

弊社製品をご使用になる前に、この取扱説明書のとりわけ安全の手引きをお読みいただき、内容をご理解いただけますようお願い申し上げます。

取扱説明書は、購入いただいた弊社製品の機能と特性を十分に理解して最大限に有効活用していただくことを第一の目的に作成したものです。また、安全上および保守上の重要な注意事項をはじめ、弊社製品の運転中に起こる可能性がある問題点についても説明しています。

操作方法、安全、保守などに関する必要な情報がその場で得られるよう、この取扱説明書を弊社製品に常に携帯してください。

弊社製品に関する情報はインターネット上のホームページ [www.permobil.kk.jp](http://www.permobil.kk.jp) でもご覧になれます。

取扱説明書中の説明文、写真、イラスト、仕様などは取扱説明書を作成した時点での製品情報に基づいて編集したものです。説明書に掲載した写真やイラストは代表例を示したもので、この弊社製品の各部を正確に描写するものではありません。

また、予告なしにその仕様を変更することがあります。

## テクニカルサポート

技術的な問題点が発生した場合は、販売店もしくはペルモビール株式会社まで連絡してください。弊社に相談される場合、正確な情報をお伝えするため、必ず車体の製造番号（シリアル）をお知らせください。

## 交換部品および付属品

交換部品および付属品は、必ず販売店にご注文ください。

## 廃棄

現行の廃棄基準については、弊社にお問い合わせください。

## 保証

全ての車いすには1年間の品質保証、タイヤやバッテリー等の消耗品は保証期間に関わらず有償となります。

## 故障報告書

故障問題が生じた場合、お近くのペルモビール販売店までご連絡ください。通常お買い上げ頂いた際の担当者が対応いたします。

製品の品質を高め、また製品の安全性を保証するためにも、故障のご連絡をしてくださいますようお願いいたします。また MEDDEV 2.12-1 および付属書 9 にも記載されているように、製造者は使用者またはこれらのガイドラインの基準を満たした医療機器に関する問題を報告する特定責任を負った者が、各国の基準に従って製造者または所轄官庁に問題を報告することを奨励しています。

要件を満たすため、またお客様がご利用されるにあたって弊社製品が常に安全であることを保証するため、どうぞご協力ください。このページに記載された情報をお客様が必要としないことが望ましいわけですが、問題が生じた際にはどうぞご連絡ください。

## 製品承認

EN 12184 および ISO 7176 に基づく要件を満たしております。

## 安全の手引き－全般

弊社製品はモータで駆動されるため、使用に際しては特別な注意が必要です。本取扱説明書中の注意事項および警告事項を読んでから、弊社製品を使用してください。誤った使い方は、ご自身のけがや弊社製品の破損の原因となる可能性があります。これらの危険性を減らすため、本取扱説明書、とりわけ安全上の注意事項や警告事項を必ず読んでください。

本取扱説明書では、次の記号を使って安全上特に重要な項目について記述します。



### 注意

この記号が表示された箇所には注意が必要です。



### 警告

この警告の記号が表示された箇所にはさらなる注意が必要です。警告を無視した場合、人がけがをする危険性や弊社製品の損傷などの物的損害につながる可能性があります。

本取扱説明書中の警告事項および注意事項を守らなかったために起きた人身傷害や物的損害に対して、弊社は責任を負いません。誤った判断による傷害や物損に対しても、弊社は責任を問わないものとします。

使用する弊社製品の型式および仕様を選定し購入する最終決定は、ご使用者本人あるいは介護にあたる専門家の方々の責任においてなされるものです。弊社製品のモデルあるいは仕様の不適切な選定、弊社製品と使用者の不適合に対して、弊社は責任を負いません。



### 注意

本使用者マニュアルに記載された推奨/注意/指示事項に使用者またはその他の者が従わなかったことで生じた人体損傷または器物破損に対して、ペルモビール AB およびペルモビール(株)は一切の責任を負わないものとします。



## 安全の手引き – 全般

ご購入の弊社製品は、お客様の医療介護提供者の処方もしくはお客様のニーズに合わせて調節されています。シート（座席）の位置や他の調節部位を変更する場合は、お客様の医療介護提供者と相談しながらおこなってください。調節の仕方によっては、弊社製品の性能を阻害する、あるいはお客様のニーズに沿わなくなる可能性があります。

またご使用前には、購入された弊社製品の操作ボタン、機能、ハンドル操作、シートの調節、あるいは付属品などに慣れるために十分な時間を充てていただくことが非常に大切です。

初めての試運転走行は、必要な場合に手助けを得られるように近くに付き添いの人を配置しておこなってください。

出荷の過程で不具合を生じなかったことを確かめるため、以下を確認してから使用を開始してください。

- 操作説明書やその他必要書類も含めて、すべての注文した物品がそろっていること。不足していると思われる場合は、販売店あるいは弊社 まで連絡してください。
- 弊社製品ならびに付属品が、輸送中のあるいはその他の原因で損傷を受けていないこと。何らかの損傷や不具合箇所をみつけた場合は、そのままの状態の販売店あるいは弊社に連絡してください。

使用開始前に、弊社製品のバッテリーを充電することをお勧めします。充電方法は「バッテリーの充電」の章を参照ください。

走行前には、タイヤ圧が正常であることを確認してください。

弊社製品がどこか思いどおりに動かないと感じるか、何らかの異常の疑いがある場合は、すぐに試験走行を中止して弊社製品の電源を切り、販売店か弊社 まで連絡してください。

## 安全規則/規定



## 警告

**壊れる危険性**

車いすのシートは重たく、多数の可動部品が使用されており、ついでには常に壊れてしまう危険性が伴っているということをご留意ください。

シートの電動機能をご利用の際には、厳重な注意が必要です。とりわけ、テーブルまたはその他の固定/可動物の近くまたはこれらの下まで移動した場合、シートの可動部品の邪魔になるものがすぐ近辺にないことを必ず確認するようにしてください。

**座面昇降/ティルト/リクライニングの操作**

座面昇降または座面/リクライニング機能をご使用になられる場合、シャーシとシートの間になにかが挟まる危険がないことを確認してください。これらの機能をご使用になられる場合、重心の位置が変わりますので、車いすがひっくり返ってしまう可能性があります。ついでには、必ず低速で運転し、平らな面においてのみこれらの機能を使用し、坂、斜面、丘、またはその他傾斜がある場所ではこれらの機能を使用しないようにしてください。

**重心**

以下の要素は車いすの重心に影響を与え、転倒の可能性をもたらすものですのでご注意ください。

- ・ 座面昇降を上げること
- ・ 座面の高さおよび角度
- ・ 身体の位置または体重の傾け方
- ・ 斜面や丘など傾いた面を走行すること
- ・ リュックサックやその他のものを身に付けていること（追加重量による）

お客様の車いすが思わぬ方向に傾き始めた場合、即座にジョイスティックから手を放して、車いすを停止させてください。緊急事態を除いては、車いすを停止させるのに電源キーを使用しないでください。これにより車いすが唐突かつ手荒に停止し、人体損傷を招く恐れがあります。

## 安全の手引き



## 警告

## シートベルト

弊社製品のシートベルトは、運転者が走行中にシートから落ちないように保持するためのものであり、事故の場合に運転者を保護するためのものではありません。破損や摩耗箇所がある場合、販売店へ相談してください。定期的にベルトの状態を確認してください。

## 弊社製品の乗り降り

弊社製品の乗り降りや操作パネル側の肘掛の持ち上げは、必ず電源を切ってからおこなってください。

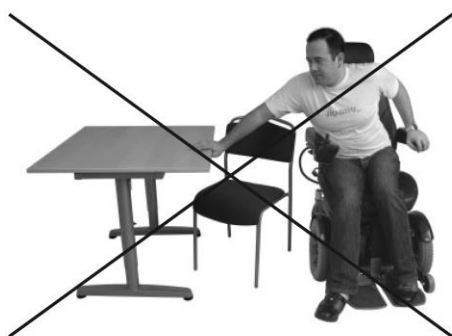
弊社製品の乗り降りをするときは弊社製品と乗り移り場所との間の距離を短くするよう注意してください。この距離が長すぎると、無理な動きをする、バランスを失う、落下する、などの原因となります。

乗り降りの際は付添い人が立ち会うか、補助することをお勧めします。

曲がるときや到着時には、警笛を使用してください。

ジョイスティックを手すりとして使わないでください。

乗り降りの際に、踏み板や肘掛につかまらないでください。踏み板や肘掛は体重を支えるようには設計されていません。過大な荷重がかかると破損や変形して、けがや弊社製品の破損などの物的損害を起す可能性があります。



## 安全の手引き



## 警告

## 乗員

弊社製品はその年齢にかかわらず運転者以外の乗員を運ぶものではありません。取扱説明書に記載されたシートに乗る最大重量は運転者の体重+その所持品の合計重量です。この最大値を超えることはできません。弊社製品の操縦性と安定性が損なわれる可能性があります。

## 使用環境

弊社製品が雨、雪、洗車などの湿気にさらされないよう注意してください。湿気にさらされると電流の短絡、着火を起こし、さらにけがや物的損害につながる可能性があります。湿気にさらされた場合は完全に乾くまで弊社製品を使わないでください。

ジョイスティックのカバーやブーツに亀裂や裂け目が入ったらすぐに交換してください。そうでないと湿気が電子機器に侵入し、けがや火災などの物的損害を起こす可能性があります。

凍結した道路や滑りやすい場所では弊社製品を使わないでください。これらの条件によって弊社製品の性能や安全性が損なわれ、事故、けが、弊社製品の損傷などの物的損害を起こす可能性があります。

## 安全の手引き



## 警告

**輸送**

弊社製品の輸送は、承認を受けた輸送手段によっておこなってください。

弊社製品が正しく固定され、車輪のロックが解除されていないことを確認してください。弊社製品はその前後に取り付けられたブラケットにひもを通して固定することができます。輸送車両側の止め金具がしっかりと車両に固定されていることも確認してください。

弊社製品の固定方法を誤ると、輸送車両の乗員の重大災害や輸送車両自体の大規模な破損を起こす可能性があります。

弊社 のシートベルトは運転者が走行中に弊社製品のシートから落ちないように保持するためのものであり、事故の場合に運転者を保護するためのものではありません。場合によってはベルトによる二次災害を負う可能性もあります。

## 安全の手引き



### 警告

#### 点検整備

取扱説明書に記載された以外の点検整備作業はおこなわないでください。記載された以外の作業は、弊社 製品の点検整備作業の資格を有するサービス技術員だけが実施できます。

弊社製品の電気設備の点検整備は、バッテリー電極の接続を切り離れた状態でおこなってください。感電を避けるため、バッテリー回りの作業で金属性物体を扱う場合は、特に注意が必要です。短絡させると容易に爆発が起こります。弊社製品の点検整備作業中は必ず保護手袋および保護眼鏡を着用してください。着用を怠るとけがをする可能性があります。

弊社 が認定していない部品や付属品を使わないでください。認定されていない市販の部品や付属品を使用すると弊社製品の機能および性能に変化が生じ、弊社製品を不安定で操作不能な状態になる可能性があります。また、弊社製品の保証も無効となります。

弊社製品の電気設備に認定されていない電気機器や電子機器を接続すると電気設備を損傷させる原因となり、操作が不可能になり、あるいは誤動作する可能性があります。このような行為も保証を無効とします。

弊社製品は重量物である上に、多くの可動部位で構成されています。そのため常に充電することを心がけてください。

## 安全の手引き



### 警告

#### 保管場所

車いすやその付属品を結露が起こる（蒸気や水蒸気が水滴となって付着する）場所に保管してはいけません。例：ユーティリティルーム（洗濯機/掃除用具を入れる部屋）

車いすをどのように保管するのが一番良いのか分からない場合、購入した販売店またはペルモビールまでお問い合わせください。

#### 車いすとその付属品の破損/故障

シートやその各種機能が正常に作動しないことに気づいた場合、または異常があるのではないかと感じられた場合、すぐに走行を中止し、車いすの電源を切り、購入した販売店またはペルモビールまでお問い合わせください。

配送中、ご使用中、またはその他いかなる場合においてシートまたはその付属品が破損した場合、販売店またはペルモビールにご連絡ください。安全に使用できなくなっている危険性があります。

## 設計と機能

### 概要

コルプス 3G は、人間工学に基づいて設計された車いすのシートで、使用者の要望に合わせて簡単に調整することが可能です。このシートは、ふくらはぎ乗せ、太腿サポート、体幹サポート、胸部サポート、ヘッドレストなどの幅広い種類の付属品を取り付けることができます。

### 概要



- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. ヘッドレスト   | 5. レッグレスト  |
| 2. バックレスト   | 6. フットプレート |
| 3. ジョイスティック | 7. アームレスト  |
| 4. シート      |            |



## 設計と機能

### 電動シート機能 (車いすの装備によって異なります)

電動のシート機能は、電動アクチュエーターにより駆動し、車いすの操作器により無段階で調整できます。

#### 電動機能

- ・ 座面昇降
- ・ フットエレベーター
- ・ ティルト
- ・ リクライニング

### 手動シート機能 (車いすの装備によって異なります)

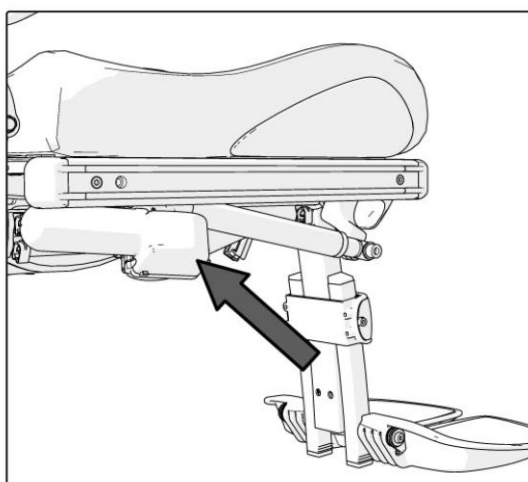
シートは、多様な位置で固定が可能です。ロッキングチューブ (下右図) を調節することにより手動で調整できます。

#### 機能

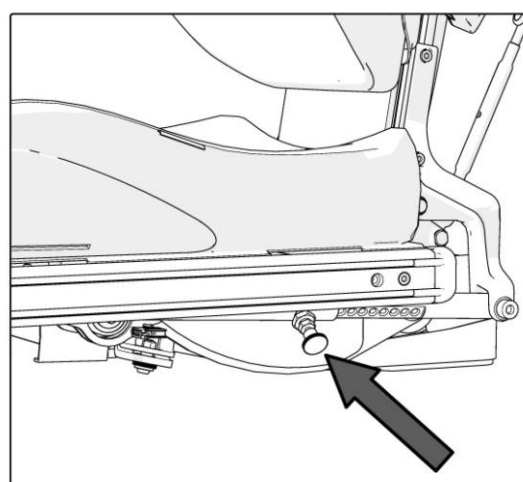
- ・ レッグレスト角度
- ・ リクライニング角度

### その他の調整機能

操作器、肘掛け、フットプレート、ふくらはぎ乗せ、太腿サポート、体幹サポート、ヘッドレストなどその他の付属品についても手動調整によるお好みの設定が可能です。



レッグレスト角度調整用電動アクチュエーター



リクライニング角度調整用手動ロッキングチューブ

## 設計と機能

### 電動座面昇降

電動座面昇降を使うことにより、テーブルやベンチなどの高さに合わせる際、無段階可変で座面の上げ下げができます。

電動座面昇降が最低位置から上げてある場合、車いすの速度は減速します。



電動座面昇降

### 電動ティルト

電動ティルト機能を使うことにより、ティルトの無段階可変調整が可能となります。



電動ティルト調整



### 警告

座面昇降を上げることで重心の位置が高くなりますので、車いすがひっくり返ってしまう可能性も高まります。平らな面でのみシートをご利用するようにしてください。

傾斜や段差のある面を走行の際もしくは障害物を乗り越えようとしている際には、必ず低速で運転してください。車いすが安全に操縦できない角度まで傾けないようにしてください。

## 設計と機能

### 電動リクライニング

電動リクライニングを使うことにより、リクライニング角度の無段階可変調整が可能となります。



電動リクライニング

### 電動レッグレスト

電動レッグレストを使うことにより、無段階可変の振り出し調整が可能となります。



電動レッグレスト



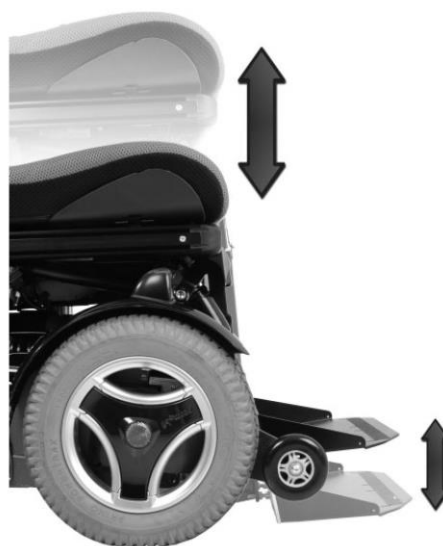
### 警告

電動機能の作動中は、常に破損の危険性があります。

## 設計と機能

### 移譲用電動レッグレスト（乗り降り時）

この機能は、フットプレートが完全に下がった状態で座面を上げるものです。これによりフットプレートが移譲動作の障害になりずらくシートへの乗り降りが簡単に行えます。薄型のフットプレートは床からの移譲をより容易にします。



移譲用電動レッグレスト（乗り降り時）



### 注意

最大荷重量及び最小レッグレスト長さの詳細については、P44 の技術情報をご参照ください。

### 電動レッグレスト長さ調整

レッグレストの自動長さ調整機能により、下腿長さ（レッグレストの長さ）の無段階可変調整が可能となります。これにより、太腿の裏側への圧力を簡単に調整することができます。



電動レッグレスト長さ調整



### 注意

最大荷重量及び最小レッグサポート長さの詳細については、P44 の技術情報をご参照ください。



### 警告

電動機能の作動中は、常に破損の危険性があります。

## 設計と機能

シートの電動機能は車いすの操作器で操作します。詳細については、シャーシの取扱説明書をご参照ください。ICS 制御システムの装備されたシートでは、電動機能をスイッチボックスで操作することも可能です。

### スイッチボックス

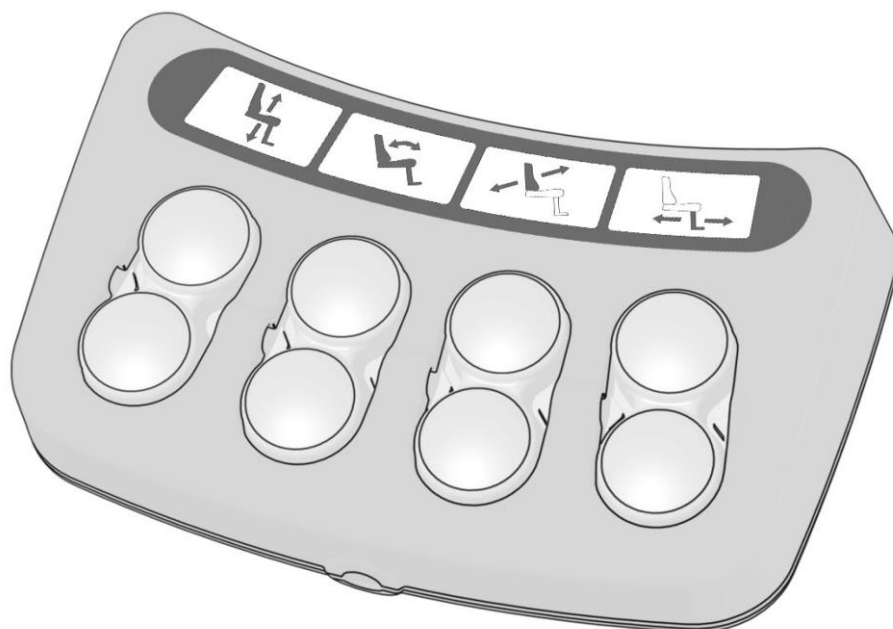
車いすのシートの電動機能はスイッチボックスで操作しますが、従来型のブッシュボタンの他にも、操作性における使用者の好みに応じてトグルの付いたものもあります。このトグルは、上ボタンを操作する際には上側に倒し、下ボタンを操作する際には下側に倒します。ここでは従来型のブッシュボタンを使ったスイッチボックスの性能を説明しておりますが、性能的には、いずれのデザインでも同じです。

各制御システムにはそれぞれ 2 つの機能があり、作動中の機能のシンボルマークが点灯します。機能の切り替えはシフト機能を使います。P22 をご参照ください。



### 注意

使用可能な機能の数は、お客様の車いすに装備された器具によって異なります。



スイッチボックス

## 設計と機能

スイッチボックス上のシンボルマークは、どの機能が使用可能なのか、どの機能が制限されているのか、さらには車いすを減速/停止させているのかということを示しています。

シンボルマークは持続的に点灯する場合、全く点灯しない場合、点滅する場合があります。

### シンボルマークの不点灯

ある機能のシンボルマークが点灯しない場合、この機能が現在使用不可能であることを意味しています。“シフト”ボタンを使って制御システムにおける右側と左側のシート機能を切り替えます。

### シンボルマークの点灯

シンボルマークの点灯は速度に関する情報です。

緑色の点灯は車いすがその最高速度で走行できることを意味しています。

黄色の点灯は、作動中のシート機能により車いすの最高速度が制限されているということを意味しています。

赤色の点灯は、作動中のシート機能により車いすが走行不可能であるということを意味しています。

### シンボルマークの点滅

シンボルマークの点滅はアクチュエーターに関する情報です。

緑色の点滅は、例えばメモリ機能などの特別な機能を表しています。

黄色の点滅は、アクチュエーター機能が一方方向にしか動きませんということを意味しています。  
“安全であると判断される”方向にしか作動しないように制御されています。

赤色の点滅は、アクチュエーターに関連する障害が検出され、ついてはシート機能が作動しない可能性があることを意味しています。販売店またはペルモビール(株)までお問い合わせください。

## 設計と機能



### 座面昇降

ボタンの上半分を押すことで座面が上がり、下半分を押すことで座面が下がります。



### リクライニング

ボタンの下部分を押すことで背もたれが後ろに動き、上部分を押すことで元に戻ります。



### ティルト

ボタンの下半分を押すことでティルトが後ろに傾き、上半分を押すことで前に傾きます。



### レッグレスト角度

ボタンの上部分を押すことでレッグレストが外側に動き、下部分を押すことで引き込み側に動きます。

車いすシートバージョンによっては、レッグレスト角度調整機能と別の機能が、切り替えなしで同じボタンによって行われる場合もあります。この場合、機能ボタンが押されるたびにレッグレストが引き込み側/外側に動きます。

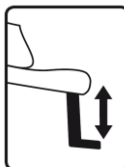
## 設計と機能

**切り替え**

シフトボタンを押すことでコントロールボタンの機能を切り替えます。再度シフトボタンを押すと元の機能に戻ります。作動中の機能のシンボルマークが点灯します。

**移譲用電動レッグレスト (乗り降り時)**

ボタンの上半分を押すことでフットプレートが下げられた状態で座面が上がります。またボタンの下半分を押すことでフットプレートが上げられた状態で座面を下げるすることができます。

**電動レッグレスト長さ調整**

ボタンの上半分を押すことでフットプレート位置を上げ、下半分を押すことで下げることができます。



## 設計と機能



### メモリ機能

メモリ機能を内蔵しております。出荷時の設定では、メモリ機能はジョイスティックのみに設定されています。スイッチボックスでの操作が必要な方は販売店へお問い合わせください。座位位置を3つまで記憶できます。

## 設定の記憶

記憶させたいご希望の位置にシートを調整します。

- － ボタン（8）を2秒間押し続けてメモリ機能を有効にします。図をご参照ください。メモリ機能が有効になると緑色のシンボルマークが点滅します。
- － ボタン（4）を2秒間押し続けてメモリ保存機能を有効にします。緑色のボタン7が点灯すれば、この機能が有効になったということです。
- － 保存をご希望の機能のボタン（5、6、7）を3秒間押し続けてシートの設定を保存します。関連するボタンの上のシンボルマークが赤く点灯し、設定が保存されると操作器から短めのビープ音が鳴ります。
- － 操作器の標準機能に戻るには、メモリボタン（8）を押します。図をご参照ください。

## 設定の読み出し

- － ボタン（8）を2秒間押し続けてメモリ機能を有効にします。図をご参照ください。メモリ機能が有効になると緑色のシンボルマークが点滅します。
- － 保存を希望する機能のボタン（1、2、3）を押し続けると保存していた通りの位置にシートが動きます。図をご参照ください。安全上の理由により、所要の位置に完全に来るまでボタンは押し続けるようにしてください。保存した通りの位置にまで達するとシートのアクチュエーターが停止し、メモリボタンの上のシンボルマークが緑色に点灯、それから操作器から短めのビープ音が鳴ります。
- － メモリボタン（8）を押すとコントロールパネルの標準機能に戻ります。図をご参照ください。



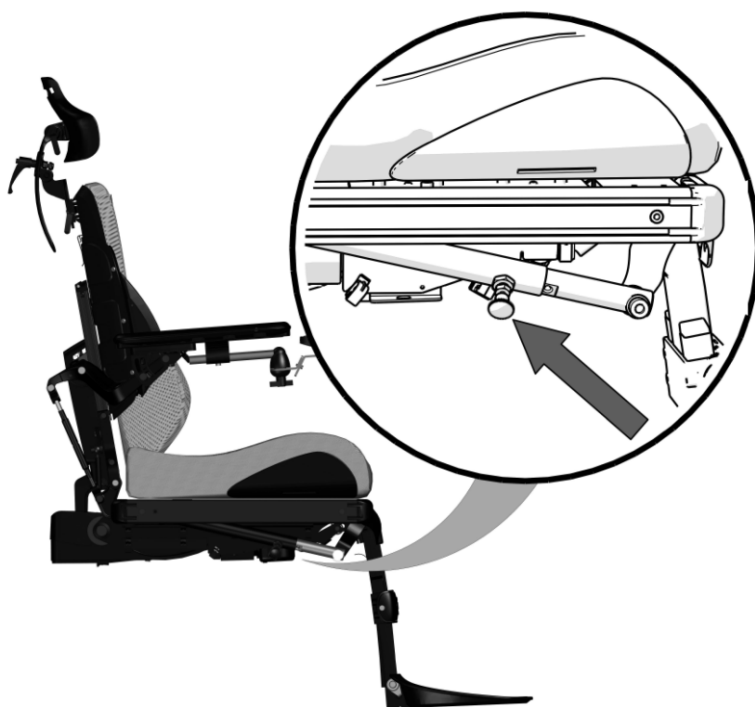
スイッチボックスのメモリ機能

## 設計と機能

### 手動シート調整機能 — レッグレスト角度の調整

レッグレストの角度は、多様な位置で固定が可能です。

1. ロッキングチューブを動かしてレッグレストに角度をつけるため、矢印で示したバネ取っ手を引っ張ります。
2. レッグレストの角度をお好みの角度に調節し、取っ手から手を放して所定の穴にはめてロッキングチューブをしっかりと固定します。
3. 調整が終わった後、レッグレストが所定の位置に固定されていることを確認します。



**警告**

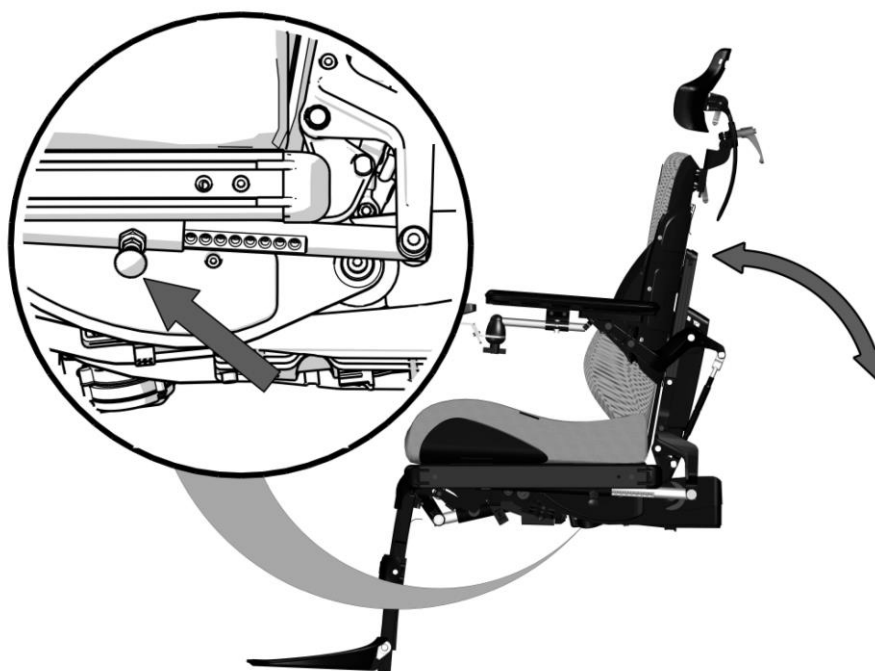
角度調整中はレッグレストに負荷をかけないでください。壊れてしまう危険性があります。

## 設計と機能

## 手動シート調整機能 — リクライニング角度の調整

リクライニングの角度は、多様な位置で固定が可能です。背もたれは、90度から最大45度後ろに傾けることが可能です。

1. ロッキングチューブを動かして背もたれに角度をつけるため、矢印で示したバネ取っ手を引っ張ります。
2. 背もたれの角度を所要の角度に調節し、取っ手から手を放して所定の穴にはめてロッキングチューブをしっかりと固定します。
3. 調整が終わった後、背もたれが所定の位置に固定されていることを確認します。



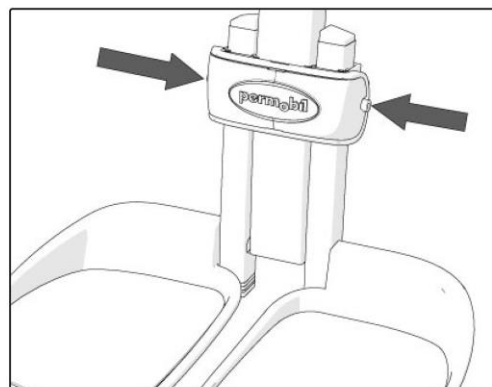
## 警告

角度調整中は背もたれに負荷をかけないでください。壊れてしまう危険性があります。

## 調整

### レッグレストカバー

カバー横の 2 本のネジを緩め、カバーを正面にまっすぐに引いてカバーを取り外します。図をご参照ください。戻す時は、カバーを押し付けて固定した後、2 本のネジで固定します。

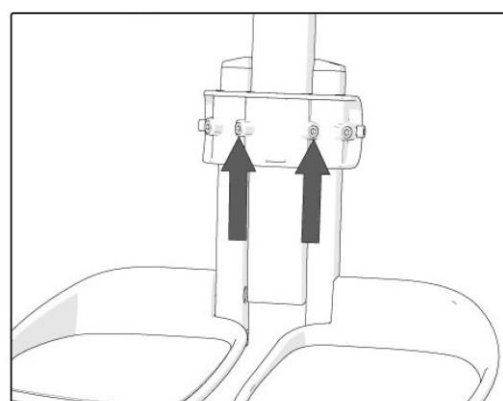


レッグレストのカバーは 2 本のネジによって固定されています。

### レッグレスト長さ

レッグレストの長さは図のネジを緩めることにより調整可能です。2 本のネジによって固定されます。

1. レッグレストのカバーを取り外します。上述の説明をご参照ください。
2. レッグレスト内部固定用のネジ 2 本を緩めます。図をご参照ください。
3. レッグレストを所要の長さに調節してから固定用ネジを締めて固定します。
4. 調整終了後、レッグレストが完全に固定されていることを確認します。
5. プラスチックカバーを元に戻しておく。図をご参照ください。



レッグレストの長さ調整は内部固定用ネジ 2 本によって行う。



## 警告

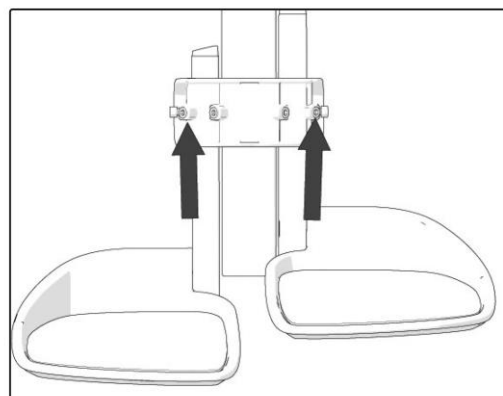
調整中はフットプレートに負荷をかけないでください。

レッグレスト中央のパイプの下部がフットプレート底面より下にならないようにフットプレートの位置を調整してください。

### フットプレート高さ

フットプレートの高さは左右別個かつ無段階に調整することができます。これらは矢印で示した外側ネジ 2 本により固定されます。

1. レッグレストのカバーを取り外します。前頁の説明をご参照ください。
2. フットプレート外側固定用のネジ 2 本を緩めます。図をご参照ください。
3. フットプレートをご希望の高さに調節してから固定用ネジを締めて固定します。
4. 調整終了後、フットプレートが完全に固定されていることを確認します。
5. プラスチックカバーを元に戻しておく。前頁の図をご参照ください。



フットプレートの高さは外側固定用ネジ 2 本により調整されます。



#### 警告

調整中はフットプレートに負荷をかけないでください。

レッグレスト中央のパイプの下部がフットプレート底面より下にならないようにフットプレートの位置を調整してください。

## 調整

### フットプレート角度

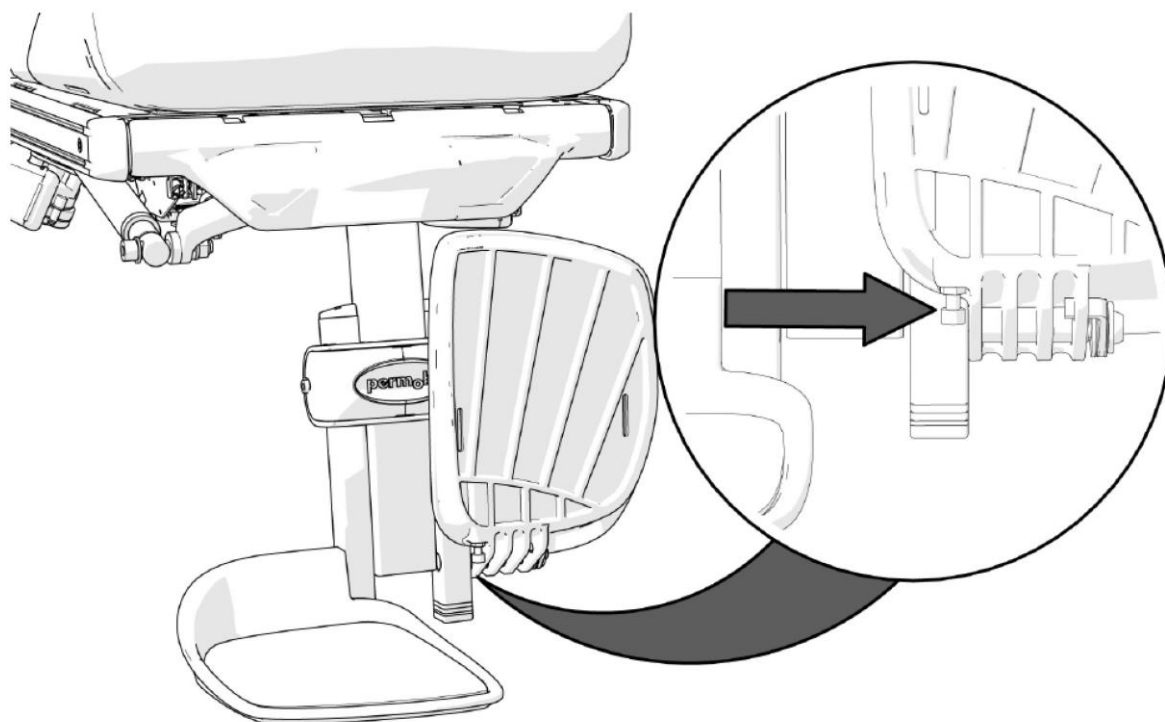
フットプレートの角度は、左右フットプレートの下に付いた止めネジにより調整します。

1. フットプレートを上方へ傾けます。
2. ロックナットを緩めます。
3. ネジを締めながらご希望の角度へ調整します。
4. ロックナットにより所要の位置に止めネジを固定します。



### 警告

調整中はフットプレートに負荷をかけないでください。



フットプレートの角度は、ロックナットの付いた止めネジにより調整します。

## 調整

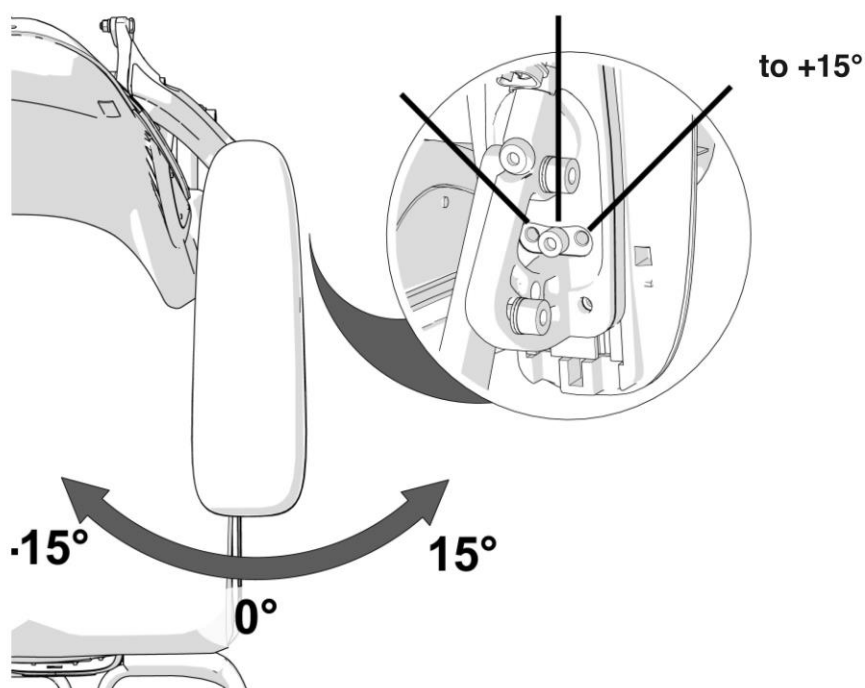
### 肘掛けの位置

肘掛けは内側/外側に向けて角度をつけることが可能です。最適な位置に調整が可能です。この角度は、肘掛けの前部を内側または外側に押して変えることができます。この角度は 3 種類の定位置に設定することができます。位置決めを行うには、肘掛けの下にあるネジをずらします。以下の図をご参照ください。



### 警告

肘掛けの角度が 0 度から 15 度に設定されている場合、戸口やその他の狭い通路を通る際、特に注意してください。人体損傷または車いすの破損を含む器物破損をまねく可能性があります。



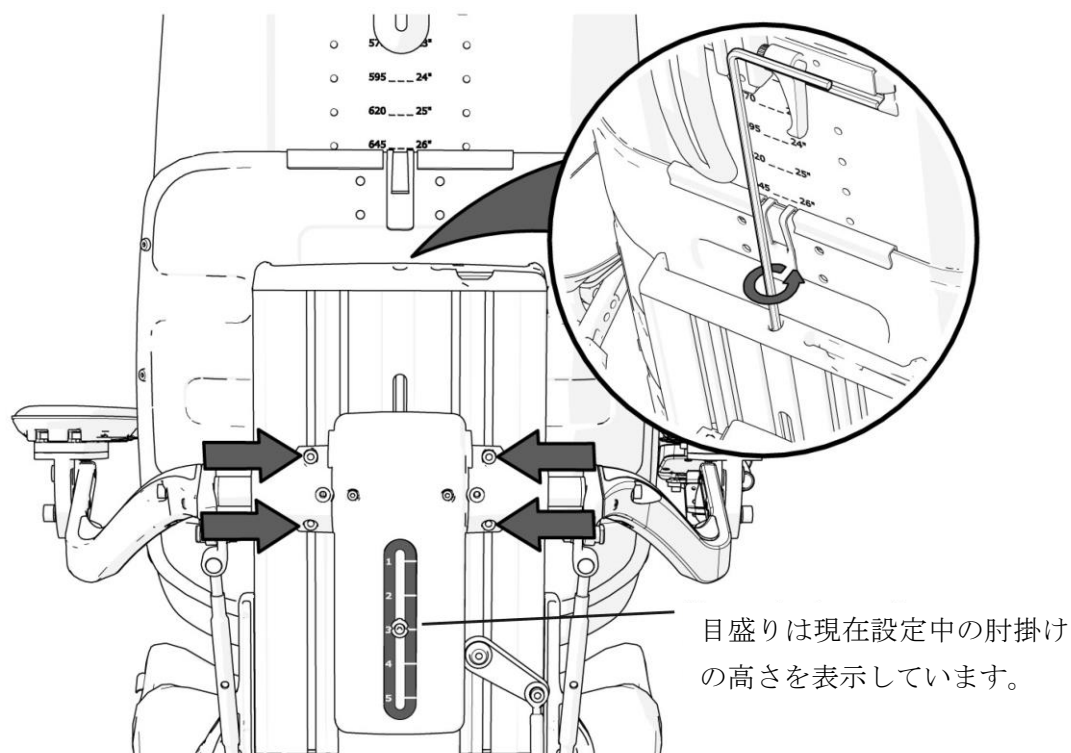
肘掛けは、内側または外側に角度をつけることができます。

## 調整

### 肘掛けの高さ

肘掛けの高さを調整することができます。最適な高さへ調整可能です。

1. 肘掛けの高さを固定している背もたれ裏側の 4 本のネジを緩めます。
2. 背もたれの裏側にある調整ネジを使用して、ご希望の位置に調整します。以下の図をご参照ください。背もたれ中央にある目盛りは、現在設定中の肘掛けの高さを表示しています。
3. 背もたれの裏側にある 4 本のネジを締め、肘掛けの高さを固定します。図をご参照ください。



肘掛け高さの調整

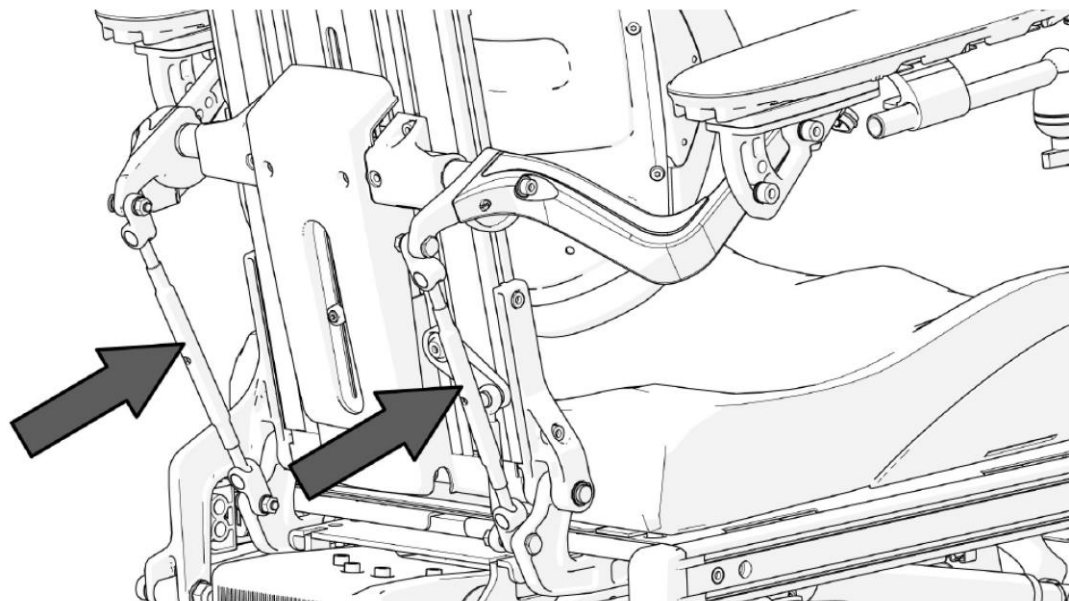


## 調整

### 肘掛けの角度

肘掛けの角度を簡単に調整することができます。最適な角度へ調整が可能です。

1. 調整バーを回して、肘掛けの角度を調整します。図をご参照ください。



肘掛け角度の調整



警告

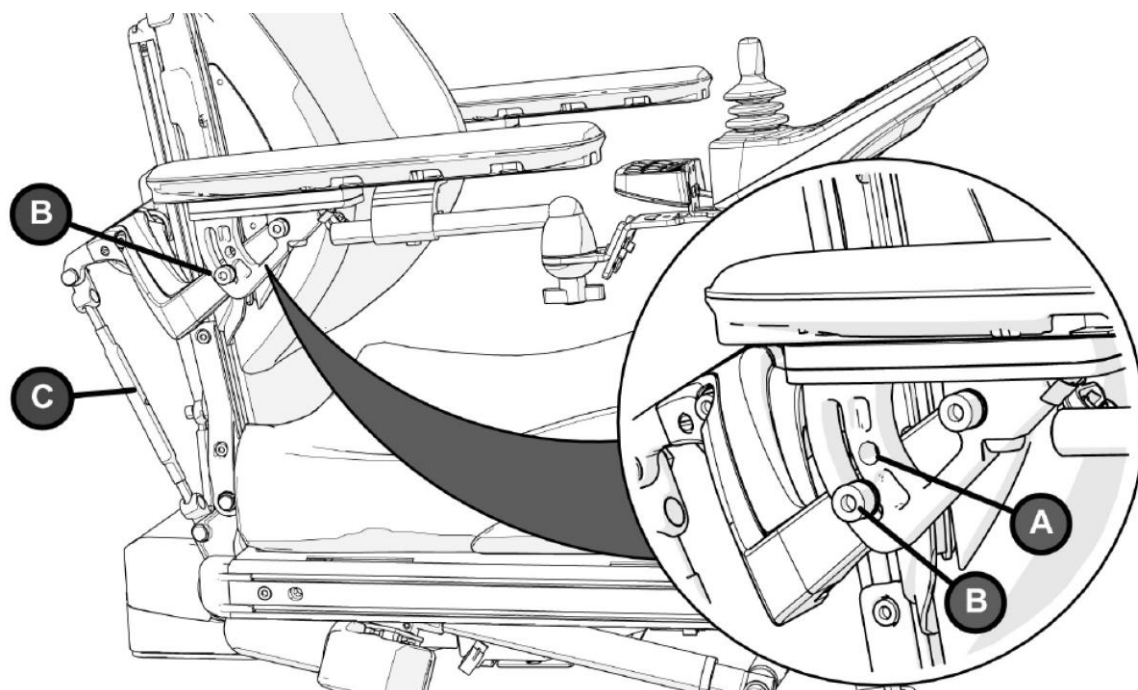
調整中は肘掛けに負荷をかけないでください。壊れてしまう危険性があります。

## 調整

### 肘掛けの高さ/角度

肘掛けの高さ/角度は、通常 P32～P33 に説明されている通りに調整されますが、右と左の肘掛けを異なる高さ/角度に調整したい利用者に対しては、個別に肘掛けを調整することが可能です。ただし、このような調整は特別な必要性がある場合にのみおこなわれるもので、リクライニング機能を使用する際の肘掛けの動作に悪影響を与えてしまう可能性があります。

1. 調整バー (C)を回して、肘掛けの高さを調整します。図をご参照ください。
2. 肘掛けの角度はネジ (B) により固定されています。ネジを固定位置 (A) からの可変位置 (B) に移します。以下の図をご参照ください。
3. 所要の角度に肘掛けを調整し、ネジ (B) を締めて固定します。以下の図をご参照ください。



肘掛け高さ/角度の個別調整



### 注意

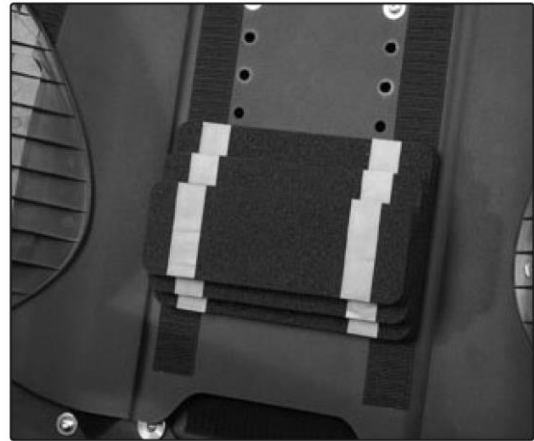
調整中は肘掛けに負荷をかけないでください。壊れてしまう危険性があります。  
 このような調整は特別な必要性がある場合にのみおこなわれるもので、リクライニング機能を使用する際の肘掛けの動作に悪影響を与えてしまう可能性があります。

## 調整

### 背中中の曲線に合わせた調整パッド

調整パッドは、必要量に応じて取り外しの可能なベルクロテープが付いた3つのパッドが付属されています。

1. 背もたれのクッションを取り外します。
2. 必要に応じて調整パッドを調節します。
3. 背もたれのクッションを元に戻します。



背中中の曲線に合わせた調整パッド

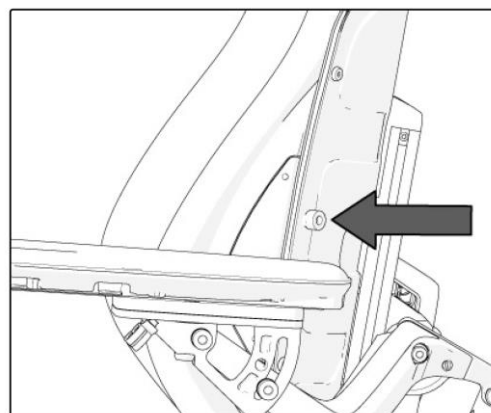


高さの調整

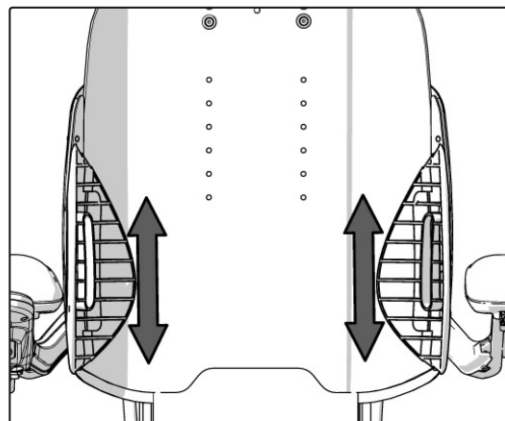
## 調整

### 体幹サポート 高さ調整

1. 背もたれのクッションを取り外します。
2. 体幹サポートを固定しているネジを緩めます。このネジは肘掛けの後方にあります。図をご参照ください。
3. 体幹サポートをご希望の位置に合わせる。
4. ネジを締める。
5. 背もたれのクッションを元に戻します。



体幹サポートはネジ1本で固定されています。



高さの調整

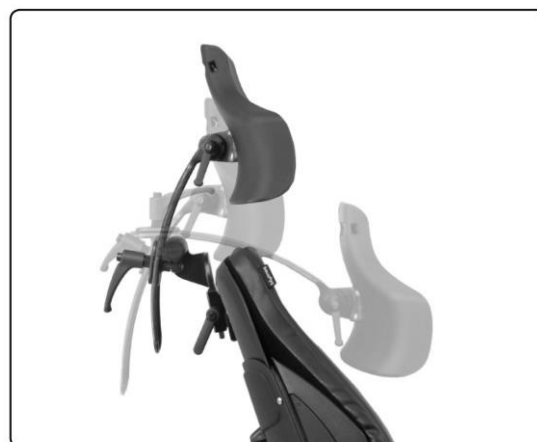
## 調整

### ヘッドレスト (オプション)

本ヘッドレストは、最適な位置に設定できるように幅広い調整が可能なもので、設定を保持しながらの取り外し/取り付けも可能です。

### 取り外し

1. 背もたれ裏側の取っ手 (3) を緩めます。図をご参照ください。
2. まっすぐ上に持ちあげてヘッドレストを取り外します。



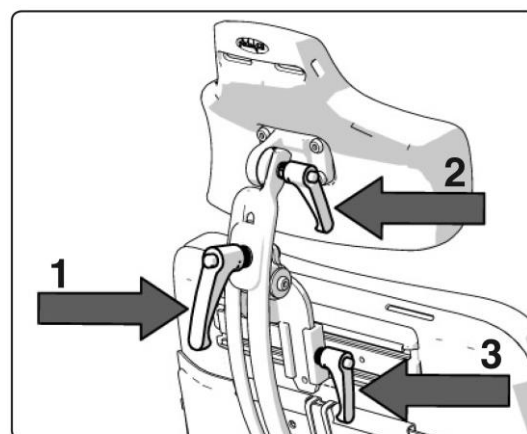
柔軟な位置に設定可能なヘッドレスト

### 取り付け

上記と逆の手順で取り付けをおこないます。

### 高さ/奥行き調整

1. 背もたれ裏側の取っ手 (1) を緩めます。図をご参照ください。
2. 必要に応じてヘッドレストの高さ/奥行きを調整します。
3. 取っ手 (1) を締めます。



ヘッドレストの調整

### 角度の調整

1. 背もたれ裏側の取っ手 (2) を緩めます。図をご参照ください。
2. 必要に応じてヘッドレストの角度を調整します。
3. 取っ手 (2) を締めます。



## 注意

調整中はヘッドレストに負荷をかけないでください。

## 調整

### ジョイスティックホルダー（回転式）

最適な操作位置を確保するため、ジョイスティックの場所を縦方向に調節することができます。また乗り降りを容易におこなうため、ジョイスティックの角度を横向きに調整することも可能です。

#### 長さの調整

1. アームレスト下側についているブラケットのネジを緩め、ジョイスティックホルダーをご希望の位置に合わせます。
2. ネジを締めます。

#### 角度の調整

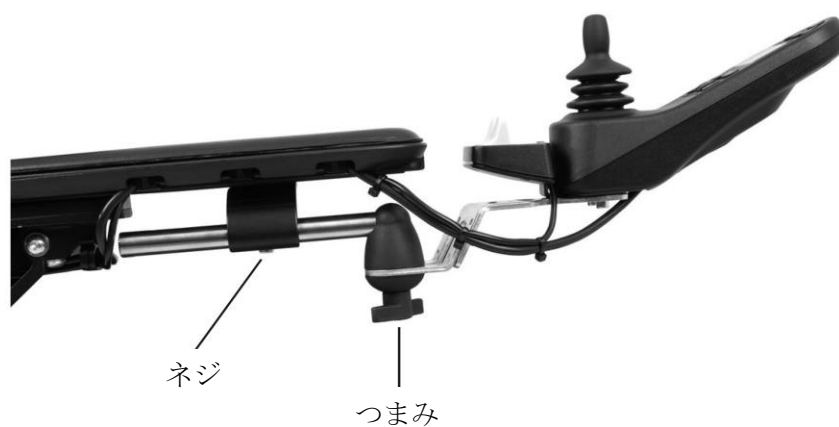
図のつまみのかたさを調整することで、横方向へのジョイスティックの移動を軽めにもきつめにもおこなうことができます。



長さを調整するためのネジ



つまみ



### ジョイスティックホルダー (リトラクタブル)

最適な操作位置を確保するため、ジョイスティックホルダーの場所を進行方向に向けたまま調整することができます。また乗り降りを容易におこなうため、パネルを斜め後ろに移動させ、肘掛けの横に配置することも可能です。

#### 長さの調整

1. 肘掛けの下のネジを緩め、パネルをご希望の位置に合わせます。
2. ネジを締めます。

#### 角度の調整

図のつまみを使うことで、肘掛け横へのジョイスティックの移動を軽めにもきつめにもおこなうことができます。



乗り降りを容易におこなうため、ステーを斜め後ろに移動させ、肘掛けの横に配置することも可能。



リトラクタブルジョイスティックホルダーの付いたコントロールパネル

## シートベルト

### シートベルトの装着

シートベルトなどを固定するために座枠の両側にレールが設けてあります。シートベルトはこのレールの上側の溝に装着してください。

1. シートベルトをネジで固定します。この際、利用者に最適なスナップロック付きのベルトを片側に、留め金の付いたベルトを反対側に装着します。
2. 装着終了後、ベルトの留め金がスナップロックに問題なくはまることを確認してください。



装着済みのシートベルト



装着済みのシートベルト



シートベルトのスナップロック



### 警告

ペルモビールのシートベルトは、使用者を固定するためだけに設計されており、衝突や事故の際の使用者保護が目的ではありません。破損や摩耗箇所があるか、定期的にベルトの状態を確認するようにしてください。



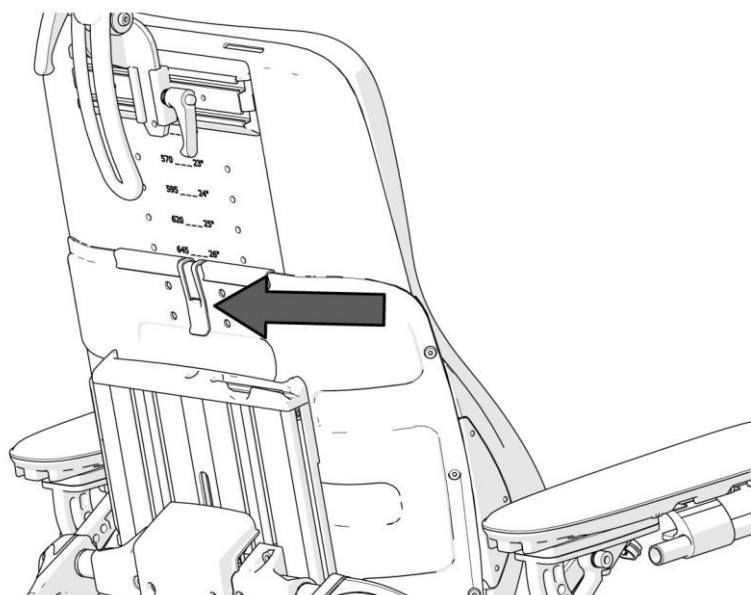
## 運搬

### 背もたれの取り外し

車いすの運搬する際に、簡単な作業で背もたれを取り外すことができます。

1. 背もたれのクッションを取り外します。
2. 慎重に背もたれ裏側のクリップ（留め金）を開くとともに、背もたれ上部をまっすぐ引っ張ることで、取り外せます。以下の図をご参照ください。

必要に応じてヘッドレストを取り外すこともできます。 P37 をご参照ください。



背もたれ上部はロック機構により固定されています。

## 手入れとメンテナンス

定期的な手入れとメンテナンスをおこなうことで、無用の損耗や破損からお客様の車いすシートを保護することができます。以下はペルモビールの一般的な推奨事項です。クッション材の重度の汚損や表面仕上げの破損については、ペルモビールまでお問い合わせください。

### クッション材、布/ビニール

通常の洗浄としては、ぬるま湯と刺激の少ない非研磨石鹸でクッション材を洗ってください。柔らかい布やブラシを使用します。表面が乾く前に乾いたきれいな布で水気や石鹸の残留物を拭き取ります。落ちにくいシミや汚れに対してはこの手順を繰り返します。

必要に応じて、洗浄前にカバーを取り外します。クッション材に関する洗浄方法の説明書もご参照ください。

### 金属面

通常の洗浄としては、柔らかい布/スポンジ、お湯、刺激の少ない洗剤を用いるのが最良の方法となります。布と水で丁寧にしっかりと拭いてから乾かします。

半光沢面の擦り傷はソフトワックスで除去します。(製造者の指示に従ってください)

光沢面の擦り傷や引っかき傷は、液状または糊状の自動車ワックスで除去してください。研磨が終わりましたら、自動車向けのソフトワックスを塗布して、表面の艶を元の状態に戻しておいてください。

### プラスチック

通常の洗浄としては、柔らかい布、刺激の少ない洗剤、お湯を使ってプラスチックの表面を洗浄してください。完全に洗剤などを洗い落としてから、柔らかい布で拭いて水気をとります。溶剤や台所向けの研磨洗浄剤は使用しないでください。

### シートベルトの確認

破損や摩耗箇所があるか、定期的にシートベルトの状態を確認するようにしてください。



#### 警告

電子装置に障害をもたらす可能性がありますので、絶対にホースを使って車いすを水洗いしないでください。洗浄をおこなう際には、必ず車いすの電源を切るようにしてください。

## 付属品

ペルモビール車いすシートの付属品は次々と開発が進んでおります。お客様のシートに使用可能な付属品に関する情報については、ペルモビール(株)にお問い合わせください。

## データ

以下の寸法/重量情報は、標準仕様の電動コルプス 3G（含むスイッチボックス）に関するものです。

### 概要

モデル名.....コルプス 3G

### 寸法および重量

全長..... 860mm  
全幅..... 780mm  
高さ..... 1190mm  
重量..... 約 35 kg（シート角度調整機能を含めると 45 kg）  
使用者の最大重量..... 120 kg

### 電動レッグレスト（乗り降り時）

フットプレートから座面板までの最小長..... 300mm  
最大荷重..... 30 kg

### 電動レッグレスト長さ調整

フットプレートから座面板までの最小長..... 300mm  
フットプレートから座面板までの最大長..... 520mm  
最大荷重..... 70 kg

